

てんかいだいそうじょう
④天海大僧正 1536年～1643年
【徳川三代の知恵袋】



安土桃山時代より江戸時代初期にかけての天台宗の名僧。誕生は会津美里町高田と言われ、道樹山 龍興寺にて随風として出家した後、14歳で宇都宮の粉河寺や比叡山などで学びました。天海は会津蘆名氏の祈祷僧の後、徳川將軍三代に渡り、知恵袋として徳川時代の礎を築き、上野の寛永寺や日光東照宮などの創建に尽力しました。没後、朝廷より慈眼(じげん)大師号を追贈されました。会津美里町のキャラクター「あいづじげん」は天海大僧正のことです。

ほしなまさゆき 1611年～1673年
⑤保科正之と下野街道(会津西街道)
【会津初代藩主】



保科正之は三代将軍の異母兄弟(家康の孫)として生まれ、三代 家光と四代 家綱を補佐しました。また、会津藩初代藩主となり、会津より五街道を整備しました。その中で若松～本郷～大内宿～田島～今市から江戸に行く道を下野街道(会津西街道)と呼びます。会津藩はじめ新発田藩、村上藩、米沢藩や庄内藩などの参勤交替や江戸や京と会津以北を結ぶ、物流や人的交流の道として重要な街道でした。会津若松～上米塚の渡し(船)～米塚～新町～瀬戸戸～字本郷～大八郷～福永～閑山～柄沢～大内宿と通っています。

みづのげんざえもん 1604年～1647年 さとういへえ 1762年～1842年
⑥水野源左衛門と佐藤伊兵衛
【会津本郷焼の陶祖と磁祖】



会津本郷焼は1593年、蒲生氏郷が黒川城(現在の鶴ヶ城)改修のため播磨国(兵庫県)から瓦工を呼び瓦を製造したのが起源とされます。美濃国(愛知県)瀬戸の生まれの水野源左衛門が長沼(須賀川市)に住んで陶器を作っていましたが、1647年に会津藩主 保科正之が本郷に住まわせ陶器を製造させました。1797年、佐藤伊兵衛は中部や四国、九州の先進地などを回り技術を探り、研究の結果、1800年ようやく磁器の基礎を作りました。

会津の領主と藩主

- 1 蘆名時代 (1189～1589年) (20代・400年間)
(16代 盛氏(中興の祖)、20代 義広)
- 2 伊達政宗時代 (1589～1590年) (1年間)
- 3 蒲生時代 (1590～1598年) (8年間)
- 4 上杉景勝時代 (1598～1601年) (3年間)
- 5 再蒲生時代 (1601～1627年) (26年間)
- 6 加藤時代 (1627～1643年) (16年間)
- 7 保科・松平時代 (1643～1868年) 会津初代藩主 保科正之(1668年)
…3代目 正容より松平を名乗る。(10代・225年間)
(9代 容保(京都守護職)、10代 喜徳)
- 8 会津落城 (1868年) 明治元年
- 9 廃藩置県 (1871年) 明治4年



会津美里町には国宝・国重要文化財を所有している社寺が多くあります。

(国重 = 国指定重要文化財)

- 1 道樹山 龍興寺 国宝・一字蓮台法華經開結共(9巻)(書跡)
- 2 伊佐須美神社 国重・朱漆金銅装神輿(工芸品)
- 3 日用山福生寺(富岡觀音堂) 国重・富岡觀音堂(建造物)
- 4 廣田山法幢寺 国重・銅造阿弥陀如来及び両脇侍立像(彫刻)
- 5 常福院 田子薬師堂 国重・常福院薬師堂(建造物)
- 6 雷電山法用寺(雀林觀音堂) ...
国重・木造金剛力士立像(2軀)(彫刻)・本堂内厨子及び仏壇一具(工芸品)
- 7 普門山弘安寺(中田觀音堂) ...
国重・旧觀音堂厨子・十一面觀音菩薩・脇侍2軀(彫刻)
- 8 向羽黒山城跡 国指定史跡
- 9 伊佐須美神社の御田植祭 国指定重要無形民俗文化財
- 10 会津本郷焼 国の伝統工芸品(東北最古の産地)
- 11 会津三十三觀音巡り 日本遺産(裏のページ)



(一社)会津美里町観光協会
天海大僧正顕彰事業委員会(編集:西田 健)

〒969-6042 福島県大沼郡会津美里町字瀬戸戸甲3161-1

TEL:0242-56-4882 / FAX:0242-56-4876



2024.2

会津美里の偉人と往来した歴史人



おおひこのみこと たけぬなかわわけのみこと
①大毘古命と建沼河別命
【会津発祥の地と伊佐須美神社】



「古事記」には北陸道筋を平定した大毘古命と東海道筋を平定した建沼河別命がこの地で出合ったことから地名を相津(会津)としたとされています。父子は再会を喜び会津開拓の祖神として伊邪那岐命(いざなぎのみこと)と伊邪那美神(いざなみのみこと)(古事記)を新潟県境の御神楽岳に祀りました。

あしなもりうじ むかいはぐろやまじょう
②蘆名盛氏 1521年～1580年と向羽黒山城
【日本最大級の山城】



400年も続く会津蘆名家は盛氏16代に最盛期をを迎えます。1561年盛氏は家督を譲り、会津を一望できる巨大な山城を築き始めました。お茶屋場は会津茶道発祥の地と言われています。蘆名氏滅亡後、伊達政宗、蒲生、上杉と受け継がれ、上杉は徳川家康との戦いを想定し、曲輪や土壘・堀などを大改修しました。その後、関ヶ原の戦いが起きました。日本最大級の山城と言われています。伊達政宗もこの山城に来ています。



とよみひでよし 1537年～1598年 だまさむね 1567年～1636年
③豊臣秀吉と伊達政宗
【奥州仕置】



1589年、豊臣秀吉は伊達政宗に上洛するよう命じましたが政宗は蘆名領の会津を侵攻し、領主になりました。1590年、秀吉は会津に来て、奥羽の無事を乱した政宗を減封し、米沢へ異動させました。そして会津に蒲生氏郷を配置させました。秀吉に抵抗した奥州の領主達にも異動や減封をして天下統一を果していきました。それが奥州仕置です。1590年8月13日、秀吉は若松城下より本郷を通り大内宿を経て京に戻りました。

⑦古川古松軒 1726年～1807年 【地理学者・旅行家】



【岡山県生まれ】
幕府巡見使に随従し東北地方から北海道を旅して「東遊雑記」を残しました。1788年5月15日、若松城下より本郷を通り大内に泊まっています。南会津を回り、5月23日坂下から高田に泊まりました。山陽・九州にも行き「西遊雑記」も残しています。晩年、江戸幕府に命じられ江戸近郊の地誌「四神地名録」を編纂しました。古川古松軒は「百聞は一見におよばず」と自分の目で日本中を見て歩きました。

⑧吉田松陰 1830年～1859年 【武士・思想家・教育家】

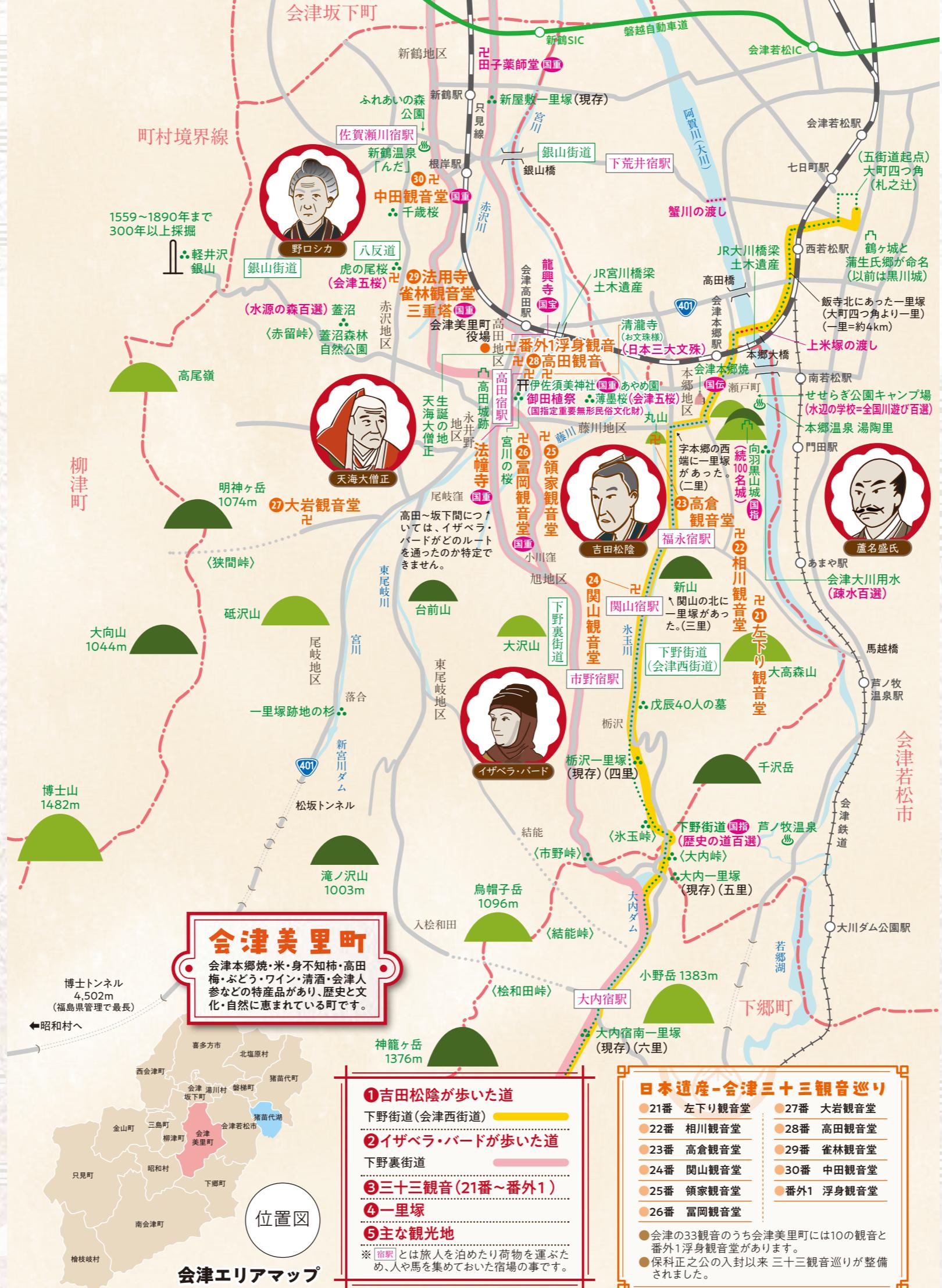


【山口県生まれ】
松下村塾において久坂玄瑞、高杉晋作、伊藤博文などを教育し、明治維新に重要な働きをする多くの若者への影響を与えました。各地の名士を尋ね1852年、若松から越後回りで津軽の龍飛崎まで行き、帰り3月29日若松から本郷を通り、田島まで1日で歩いています。「東北遊日記」に掲載されています。本郷の瀬戸町を歩いた時に「村は陶器を作り、市上に御許(おんゆるし)瀬戸捌(さばき)問屋と標せるもの多し。」と記録しています。

⑨イザベラ・バード 1831年～1904年 【イギリスの旅行家・探検家・紀行作家・写真家】



「日本の生活を見たい」「西洋文明に接していない日本の奥地を訪れ、誰よりも先に報じたい」と日本滞在の7ヶ月で4,500km以上旅をしました。明治11年(1878)6月28日大内宿より市野峠を越え、高田を通り坂下に泊まっています。「日本奥地紀行」に掲載されています。高田について「絹や繩や人参のかなり大きな取り引きをしている大きな町である。県の高官の一人の邸宅がある。街路は一マイルも続き、どの家も商店になっている。……」と書いています。



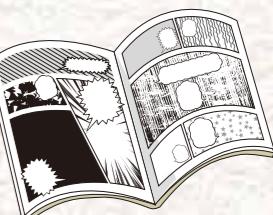
⑩野口シカ 1853年～1918年 【野口英世博士の母】



【猪苗代町生まれ】
11歳の時、中田觀音を信仰し息子、野口英世の火傷治癒と立身出世を願い、毎月17日に中田觀音におこもり(一晩中寺で祈願する)を欠かしませんでした。中田觀音堂には大正14年9月15日

野口英世博士がアメリカ留学から帰ってきた時に一緒に参りました写真が飾られています。

⑪手塚治虫と向羽黒山城 1928年～1989年 【漫画家・アニメーション作家】



【兵庫県生まれ】
ブラックジャックや鉄腕アトム、ブッダ、火の鳥、ジャンヌ大帝など有名な作品を作りました。昭和34年4月8日に若松からタクシーで向羽黒山城を訪れました。5ヶ月後に連載された「夜明け城」は向羽黒山城がモデルになったと言われています。

⑫渥美清 1928年～1996年 【コメディアン・俳優】



【東京都生まれ】
代表作「男はつらいよ」50作の中の、第36話「柴又より愛をこめて」が会津高田駅前で撮影され、昭和60年(1985)公開されました。マドンナは栗原小巻さん。根岸駅も撮影されています。「寅さん」として広く国民的人気を博した昭和の名優。没後に国民栄誉賞を受賞しました。